



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナカヨ通信機

コード番号 6715 URL <http://www.nvc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括本部長

(氏名) 加藤 英明

TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,273	8.0	433	△23.7	476	△19.6	312	△45.9
24年3月期第2四半期	7,658	10.5	568	125.7	592	107.4	578	95.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 315百万円 (△41.7%) 24年3月期第2四半期 541百万円 (136.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	14.21	—
24年3月期第2四半期	26.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,670	14,496	73.6
24年3月期	19,770	14,402	72.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,478百万円 24年3月期 14,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	9.6	1,100	11.2	1,200	14.6	710	△17.5	32.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	23,974,816 株	24年3月期	23,974,816 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,953,089 株	24年3月期	1,950,830 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	22,023,261 株	24年3月期2Q	21,993,282 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
<b>2. サマリー情報（注記事項）に関する事項</b> .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
<b>3. 四半期連結財務諸表</b> .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内市場は穏やかに回復基調になったものの、欧州の債務問題を背景とした円高は、株式市場の低迷を招きました。また、中国やインド等、新興国の経済成長率低下の影響を受け、輸出産業を中心とした企業の業績悪化に対する懸念が強まり、先行きははまだ予断を許さない状況にあります。

海外の状況につきましては、米国経済は緩やかな景気回復が続きましたが、欧州経済は債務問題が深刻化するなど低調に推移しました。また、アジア経済は、中国などを中心に成長のペースが鈍化し依然厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは、「中期経営計画」の最終年度である今年度も「事業構造の改革」と「経営体質の強化」を経営課題と捉え、ユーザーニーズを反映した高付加価値製品の開発、販売及び新規マーケットの開拓を目指してまいりました。トータルコストダウン活動を積極的に推進してまいりましたが、市場での価格競争が厳しさを増しており、第2四半期連結累計期間の経営成績については、四半期純利益を除き想定を下回る結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高8,273百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益433百万円（前年同期比23.7%減）、経常利益476百万円（前年同期比19.6%減）、四半期純利益312百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

このような状況を踏まえまして、第3四半期以降も予算達成に向けて、活発な営業活動と生産性の向上並びに更なるトータルコストダウンを進め、将来を見据えた経営活動を推し進めてまいります。

第3四半期以降に予定されている新製品の開発としては、前年度後半に市場に投入いたしました、アンドロイド端末の改良版の開発、M2Mでは更なる機能追加、主力製品であるビジネスホンでは、市場ニーズを先取りした製品開発をし、販売を通して市場に提供してまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ100百万円減少し、19,670百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、13,945百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加184百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少282百万円があったこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、5,724百万円となりました。これは主に、無形固定資産の増加78百万円があったものの、有形固定資産の減少45百万円、前払年金費用の減少28百万円、投資有価証券の減少17百万円があったこと等によるものであります。

##### (負債)

負債は前連結会計年度末に比べ194百万円減少し、5,173百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ136百万円減少し、4,294百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加243百万円があったものの、未払金の減少270百万円、未払法人税等の減少142百万円があったこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ57百万円減少し、879百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少27百万円、リース債務の減少17百万円、負ののれんの減少11百万円があったこと等によるものであります。

##### (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、14,496百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加92百万円があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ60百万円減少し、6,812百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ556百万円増加し、832百万円(前年同期比201.4%増)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額215百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益449百万円、売上債権の減少額282百万円、仕入債務の増加額243百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ412百万円増加し、652百万円(前年同期比171.6%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出366百万円、ソフトウェアの取得による支出289百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ113百万円増加し、240百万円(前年同期比89.8%増)となりました。これは主に配当金の支払による支出218百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高及び利益については、平成24年5月11日発表の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,529	5,463
受取手形及び売掛金	5,254	4,972
有価証券	1,418	1,418
商品及び製品	332	516
仕掛品	590	559
原材料及び貯蔵品	646	707
その他	279	312
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	14,041	13,945
固定資産		
有形固定資産	2,167	2,122
無形固定資産	673	751
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555	1,537
その他	1,333	1,313
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,887	2,850
固定資産合計	5,728	5,724
資産合計	19,770	19,670
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,506	2,749
短期借入金	40	40
未払法人税等	293	151
製品保証引当金	96	101
賞与引当金	286	302
その他	1,208	949
流動負債合計	4,430	4,294
固定負債		
退職給付引当金	63	54
負ののれん	23	11
その他	850	813
固定負債合計	936	879
負債合計	5,367	5,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,514	4,514
利益剰余金	5,188	5,280
自己株式	△408	△409
株主資本合計	14,203	14,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182	183
その他の包括利益累計額合計	182	183
少数株主持分	17	17
純資産合計	14,402	14,496
負債純資産合計	19,770	19,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,658	8,273
売上原価	5,706	6,462
売上総利益	1,951	1,811
販売費及び一般管理費	1,383	1,378
営業利益	568	433
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	13	18
負ののれん償却額	11	11
その他	16	15
営業外収益合計	44	48
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	11	1
固定資産廃棄損	6	1
その他	0	0
営業外費用合計	19	4
経常利益	592	476
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
減損損失	—	16
投資有価証券評価損	8	12
特別損失合計	8	28
税金等調整前四半期純利益	584	449
法人税、住民税及び事業税	54	144
法人税等調整額	△49	△9
法人税等合計	5	135
少数株主損益調整前四半期純利益	579	314
少数株主利益	1	1
四半期純利益	578	312



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	1
その他の包括利益合計	△38	1
四半期包括利益	541	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	314
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	584	449
減価償却費	162	161
ソフトウェア償却費	184	173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	92	15
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△0	△9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	—
受取利息及び受取配当金	△16	△20
投資有価証券評価損益(△は益)	8	12
減損損失	—	16
売上債権の増減額(△は増加)	△302	282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△800	△215
仕入債務の増減額(△は減少)	463	243
長期未払金の増減額(△は減少)	4	△6
その他	△91	△18
小計	282	1,085
利息及び配当金の受取額	16	20
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△26	△272
法人税等の還付額	6	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	832
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△57	△63
定期預金の払戻による収入	57	63
有形固定資産の取得による支出	△91	△366
ソフトウェアの取得による支出	△120	△289
投資有価証券の取得による支出	△27	△0
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△652
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△109	△218
その他	△17	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126	△240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90	△60
現金及び現金同等物の期首残高	6,227	6,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,136	6,812

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは通信機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。